

奈良県の経済動向の概要(令和4年1月)

別紙

統計分析課

奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
9月				
10月				
11月				
12月				
最新月の動き	▲2.6% 6か月連続で 減少	▲12.9% 6か月連続で 減少	5.0%【前月比】 3か月連続の上昇	▲5.3% 8か月ぶりの 減少

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業別別】	新規求人倍率 【就業別別】
9月				
10月				
11月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 10か月連続の 減少	▲1.5% 5か月連続の 減少	▲0.03ポイント 【前月比】 2か月ぶりに 減少	▲0.53ポイント 【前月比】 3か月ぶりに 減少

※生産・雇用は前月比



(参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。【10月公表分】	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している【1月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。【8月公表分】	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられる。【12月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	足踏み状態となっている。【12月公表分】	足踏み状態となっている。【1月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、消費への新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、全体として持ち直している。【11月公表分】	関西の景気は、消費への新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、全体として持ち直している。【1月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。【12月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。【1月公表分】